



2025 年における世界中の教育機関による Google for Education ツールの活用事例

2025 年 12 月

Shantanu Sinha

Google for Education、バイス プレジデント

2025 年、教育における AI の可能性が現実のものとなり、世界中の教育機関が Gemini for Education を活用して、数百万人の児童生徒、学生、教育者、スタッフを支援しました。米国だけでも、Gemini は [1,000 を超える高等教育機関](#)で使用され、1,000 万人以上の学生に利用されています。世界中の教育機関のリーダーからは、プライバシーとセキュリティが確保され、無料で利用できる業界最先端の Google AI が、教育現場に変革をもたらしているとの声が寄せられています。

世界中の教育機関とのパートナーシップにより、Google は教育と学習をサポートする [150 以上の機能とアップデート](#)をリリースしました。その影響はまさに革命的です。北アイルランドでは、教育者が業務時間を [週に最大 10 時間削減](#)できるようになりました。メキシコのある教育リーダーは、[教育者が Google AI ツールを活用](#)することで、週末いっぱいかかっていた作業が 20 分で終わるようになったと話しています。アジアやオーストラリアの教育リーダーと生徒からは、[Gemini for Education](#)を日常的に活用する [さまざまな事例](#)が紹介されています。





Gemini と NotebookLM: 教育向けの AI ツール



教育コミュニティで Gemini for Education と NotebookLM がどのように活用されているか、主な例をご紹介します。



[世界トップレベルの学習モデル](#)を搭載した[ガイド付き学習](#)を活用して、単に答えを得るだけでなく理解度を深める



[パーソナライズされた練習問題や学習ガイド、フラッシュカード](#)を活用して、試験対策を行う



[Nano Banana](#) を活用して、履歴書へのフィードバックを受けたり、プロ品質の顔写真を作成したりするなど、面接対策を行う



[Gemini Canvas](#) を活用して、特定のトピックに関するノーコードのインタラクティブ ゲームを作成し、授業をより魅力的なものにする



NotebookLM のインタラクティブなビジュアル [マインドマップ](#)を活用して、教材間のつながりを明確にすることで、調査や情報の統合を容易にする



[動画解説](#)を活用して、プレゼンテーションやグループプロジェクト用の視覚教材を作成する



[音声解説](#)を活用して、テキストコンテンツを音声に変換し、外出先でも学べる柔軟な学習を実現する



Google Classroom、Canvas by Instructure、PowerSchool Schoology Learning との統合を通じて、学習管理システムの NotebookLM や Gem を活用し、児童生徒にインタラクティブな AI 学習体験を提供する



[Google Vids](#) のサンプルスクリプトやナレーションなどの AI 機能を活用して、英語での制作を簡素化し、洗練された共同動画コンテンツを作成する*



AI 機能を搭載した Chromebook と Chromebook Plus デバイスの[拡張されたポートフォリオ](#)を活用して、より魅力的な授業と柔軟な指導を実現する

Chrome と Google Classroom: 教育と学習のための新しいツール



教育者は、Chromebook と ChromeOS の新機能を活用して、管理を簡素化し、指導に新しいアイデアを取り入れています。



管理対象 Chromebook 向けの[クラスツール](#)を活用して、教員が児童生徒の画面にコンテンツを共有したり、児童生徒の作業を確認したり、児童生徒のデバイスを探索モード、フォーカス モード、ロックモードに設定したりすることで、授業への集中とエンゲージメントを促進する

新しい Chromebook Plus デバイスで、クリック インサート(指導案用のオンデバイス画像生成)やテキストキャプチャ(画面からすばやく情報を抽出)などの AI 搭載機能を活用して、生産性を高め、時間を節約する

インタラクティブ フラットパネル ディスプレイをアップグレードして ChromeOS でシームレスに動作させるプラグイン デバイス、[Chromebox OPS](#) を活用して、既存の教育テクノロジーを最大限に活用する

ゼロタッチ登録とリモート デプロイを可能にする強化された [ChromeOS Flex](#) の機能を活用して、デバイスの寿命を延ばし、セキュリティを高める

職員が必要とする強化されたパフォーマンスと AI 機能を備えた、次世代の Chromebook Plus デバイス(AI ワークフロー用の MediaTek Kompanio Ultra NPU を搭載した新しい [Lenovo Chromebook Plus\(14 インチ、10\)](#)など)を活用して、動的な教育環境に対応する(利用可能状況は地域によって異なる)

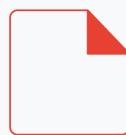
Google Classroom が、[AI を活用した指導と学習の体験](#)を提供する LMS ソリューションとして革新を続ける中、データドリブンな指導とパーソナライズされた学習をサポートする新しいツールが、世界中の教育者から支持を集めています。これらの新機能の活用事例をご紹介します。

拡張された [Classroom アナリティクス](#) を活用して、児童生徒の進捗状況に関する実用的な分析情報を取得し、学習基準に基づいた課題のタグ付けや追跡を試験的に導入する

Classroom の Read Along をより柔軟に活用して、読み書きの練習をサポートする

AI リテラシー: ヒントと実践のためのリソース

今年、Google は教育機関、教育者、児童生徒に対して AI リテラシーのリソースを提供しました。2025 年には、100 万人以上の教育者と児童生徒が Google for Education の [AI に関するトレーニング](#)を受講し、10 万人以上が [Gemini 認定資格](#)を取得しました。これらはすべて、リニューアルされた Google for Education の [ラーニングセンター](#)で無料で利用できます。



最新情報やデジタルイベントへの招待を受け取るには、
[Google のウェブサイトからご登録ください。](#)

* 期間限定ですが、少なくとも 2026 年 5 月 31 日までは、Education Plus または Teaching and Learning のライセンスが割り当てられているユーザーは、Google Vids の生成 AI 機能を利用できます。Google Vids の AI 機能は、18 歳以上のユーザーを対象に英語でのみ提供されています。